

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2004-143268 (P2004-143268A)

【公開日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報 2004-019

【出願番号】特願 2002-308853 (P2002-308853)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 67/00

C 0 8 J 5/00

C 0 8 K 5/10

// (C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 93:04)

【F I】

C 0 8 L 67/00

C 0 8 J 5/00 C F D

C 0 8 K 5/10

C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 93:04

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 23 日 (2004.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

乳酸成分 (I) としては、ポリ乳酸又はラクタイドを原料として用いることが好ましい。原料としてポリ乳酸又はラクタイドを用いた場合、得られる乳酸ポリエステルはブロック共重合体となり、透明性に優れ、かつ優れた耐折強さを付与することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

(耐折回数)

厚さ約 250 μ m のシートを用い、MIT 耐揉疲労試験機 ((株) 東洋精機製作所) により、JIS P - 8115 に基づいて測定した。尚、耐折強さは耐折回数の常用対数である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

製造例 2 ~ 11 (乳酸系ポリエステル P - 2 ~ P - 11 の作製)

ジカルボン酸、ジオール、ラクタイドの種類、添加量を表 1 のように変えた以外は、製

造例 1と同様にして、乳酸系ポリエステル（P - 2 ~ P - 11）を合成した。
各ポリマーの数平均分子量（M_n）、重量平均分子量（M_w）、ガラス転移点（T_g）についても表 1 ~ 3 に示す。